

「全鍍連」 2023年 9月号 巻頭言

全鍍連 技術担当副会長 野村重之（アルファメック(株) 代表取締役）

「東大阪市民ふれあい祭り」



東大阪は大阪市の東隣りに位置し、中小企業が多数立地するものづくりの町として全国に知られています。大阪組合の東支部青年部が24年前からふれあい祭りに参加し「めっき屋台」を運営しています。ゴールデンウィーク明けのたった一日のお祭りですが、近鉄布施駅から永和駅、河内小坂駅まで線路の北側約1.5キロの道路が歩行者天国となり、沿道にはお菓子屋さん、おもちゃ屋さん、洋服のバザー、タコ焼き店などが並び沢山の人が繰り出しとても賑やかです。

青年部に加え、青年部OBが中心となり早朝より準備が始まります。テント、ブルーシート、椅子、作業台の設営。組合環境技術センターより、脱脂槽、酸処理槽、金めっき槽、水洗槽の搬入。めっきジグの準備。差し入れのマクドのバーガーを食べ、リオのカーニバルなどのパレードを横目で見ながら浴温などめっき液を調整し10時半にオープンします。受付→金めっき→乾燥→お渡し。金めっき代が無料とは言えあつと言う間に写真のように行列のできる店となります。

念の入ったことに、ゴールデンウィーク前に正副支部長会議をはじめ関係者による運営、安全面について深夜までの打ち合わせ。ふれあい祭り後の反省会。毎年恒例となっている一週間後のゴルフコンペ。何を反省するのか打ち上げるのか、祭りの一日に焦点を合わせ全員が盛り上がります。

お預かりする品物はキーがほとんどで毎年2,500本ほど処理します。重要な注意点は渡し間違い防止。対策として受付時キーに番号シールが貼られたタグを結び付け、タグが着いたまま金めっき、お名前と番号を確認しタグを切り取りお渡しする。

他にはバックルやアクセサリなどもあります。変わったところでは仏壇のりんを持って来たおばあちゃんがありました。予想通りあくる年にはツルのローソク立てと、そのお礼にお菓子を持って来られました。

普段我々めっき業者が一般の方々とふれあうことはあっても廃水、排気、騒音と負のイメージがつきまとうことの方が多い中、このようにしてめっきのすばらしさを沢山の方に知っていただける機会を大切にしていきたいと改めて思いました。